

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月5日

上場会社名 オーケー食品工業株式会社
 コード番号 2905 URL <http://www.ok-food.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 東久保 正興
 (氏名) 川口 康太郎

TEL 0946-22-2000

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,102	2.2	△116	—	△129	—	△178	—
23年3月期第1四半期	2,057	△6.9	30	△81.7	20	△86.7	3	△95.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△4.83	—
23年3月期第1四半期	0.07	—

(注)平成23年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、平成24年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	9,462	2,117	22.4	57.14
23年3月期	9,414	2,296	24.4	61.97

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,117百万円 23年3月期 2,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	0.4	△200	—	△240	—	△250	—	△6.75
通期	8,800	3.2	△140	—	△190	—	△250	—	△6.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	37,181,410 株	23年3月期	37,181,410 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	118,597 株	23年3月期	117,997 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	37,063,188 株	23年3月期1Q	35,240,250 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(3) 追加情報	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 注記事項	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	6
(5) セグメント情報等	6
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災より3ヶ月を経過し、家計や企業などのマインドも回復基調にあるものの、電力等の供給懸念により、依然として先行きが不透明な状況で推移いたしました。

加工食品業界におきましては、個人消費の低迷と同業者間の価格競争が激化するとともに、一部資材等の価格は上昇しており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもとで、当社は、食品メーカーとしての基本である「安全性」確保のために「品質管理」を一層徹底し、「安全で安心な商品」の提供に努めてまいりました。

営業面では、当社の強みである多品種少量生産の技術できめ細かい営業に努め、販路拡大に努力してまいりました。

生産面では、品質管理を一層徹底し安全な商品作りに努める一方、今年4月から開始しました甘木第二工場の操業等生産効率の向上によるコスト削減と、さらなる品揃えの充実に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は、前年同期に比べ44百万円増加して21億2百万円(前年同期102.2%)となりました。また、損益につきましては、原材料価格の高騰等により営業損失1億16百万円(前年同期は30百万円の利益)、経常損失は1億29百万円(前年同期は20百万円の利益)、四半期純損失は、甘木第二工場の操業に伴い、生産体制効率化のため三輪工場を閉鎖したことによる固定資産の減損損失等を特別損失に計上したこともあり1億78百万円(前年同期は3百万円の純利益)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

貸借対照表

当第1四半期会計期間末における財政状態は、前事業年度末と比較して総資産は47百万円、負債は2億26百万円それぞれ増加し、純資産は1億78百万円減少いたしました。

総資産の増加要因は、主に原材料及び貯蔵品の増加1億83百万円、受取手形及び売掛金の減少89百万円、有形固定資産の減少59百万円等によるものです。

負債の増加要因は、主に短期借入金の増加3億30百万円、長期借入金の返済1億10百万円等によるものです。

純資産の減少要因は、四半期純損失1億78百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

前回発表(平成23年5月13日「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、修正しております。

詳細は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	895,624	963,492
受取手形及び売掛金	1,341,328	1,251,792
商品及び製品	434,494	434,055
仕掛品	26,693	32,211
原材料及び貯蔵品	323,314	506,690
前渡金	75,562	—
繰延税金資産	47,489	128,812
その他	190,978	139,865
貸倒引当金	△1,900	△3,289
流動資産合計	3,333,585	3,453,630
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,651,397	1,605,849
機械及び装置（純額）	1,348,243	1,452,394
土地	1,579,827	1,579,827
リース資産（純額）	75,938	83,550
建設仮勘定	215,587	—
その他（純額）	125,536	215,218
有形固定資産合計	4,996,531	4,936,839
無形固定資産		
	6,746	6,746
投資その他の資産		
繰延税金資産	343,298	340,949
賃貸不動産（純額）	407,407	400,859
その他	339,643	340,823
貸倒引当金	△12,347	△17,612
投資その他の資産合計	1,078,001	1,065,019
固定資産合計	6,081,279	6,008,605
資産合計	9,414,865	9,462,236

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	737,007	764,178
短期借入金	1,190,000	1,520,000
1年内返済予定の長期借入金	391,400	417,100
リース債務	19,560	22,101
未払法人税等	11,403	10,923
未払配当金	691	680
賞与引当金	91,423	23,905
その他	818,301	831,691
流動負債合計	3,259,787	3,590,581
固定負債		
長期借入金	3,388,600	3,277,900
リース債務	59,724	65,236
役員退職慰労引当金	106,130	108,820
退職給付引当金	224,104	221,862
資産除去債務	50,488	50,743
長期預り敷金保証金	27,708	27,708
その他	1,500	1,500
固定負債合計	3,858,255	3,753,770
負債合計	7,118,043	7,344,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,859,070	1,859,070
利益剰余金	465,723	286,786
自己株式	△13,856	△13,909
株主資本合計	2,310,937	2,131,947
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,115	△14,063
評価・換算差額等合計	△14,115	△14,063
純資産合計	2,296,821	2,117,884
負債純資産合計	9,414,865	9,462,236

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,057,961	2,102,540
売上原価	1,546,692	1,717,886
売上総利益	511,268	384,653
販売費及び一般管理費	481,049	501,549
営業利益又は営業損失(△)	30,218	△116,895
営業外収益		
受取利息	2	—
受取配当金	1,454	1,490
受取賃貸料	18,726	18,987
その他	2,169	2,085
営業外収益合計	22,352	22,564
営業外費用		
支払利息	16,607	19,950
賃貸収入原価	12,553	12,869
その他	2,471	2,303
営業外費用合計	31,632	35,123
経常利益又は経常損失(△)	20,939	△129,454
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,534	—
特別利益合計	1,534	—
特別損失		
固定資産除却損	213	—
減損損失	—	111,888
投資有価証券評価損	1,690	—
ゴルフ会員権評価損	2,300	375
役員退職慰労金	27,168	—
たな卸資産廃棄損	—	12,876
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	34,822	—
特別損失合計	66,194	125,139
税引前四半期純損失(△)	△43,720	△254,594
法人税、住民税及び事業税	3,472	3,350
法人税等調整額	△51,076	△79,008
法人税等合計	△47,603	△75,657
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,882	△178,936

(3) 注記事項
(四半期損益計算書関係)

前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)																		
—	<p>減損損失</p> <p>第1四半期累計期間において、当社は以下の資産について減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">場 所</th> <th style="text-align: center;">用 途</th> <th style="text-align: center;">種 類</th> <th style="text-align: center;">金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">福岡県朝倉郡 (三輪工場)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">生産設備</td> <td style="text-align: center;">建物等</td> <td style="text-align: right;">51,830</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">構築物</td> <td style="text-align: right;">3,724</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">機械及び装置</td> <td style="text-align: right;">40,792</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工具器具備品</td> <td style="text-align: right;">874</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">97,222</td> </tr> </tbody> </table> <p>当社は、あげ事業用資産を一つの資産グループとし、賃貸用資産及び遊休資産は物件単位にグルーピングを行っております。</p> <p>三輪工場について操業停止を決定したことに伴い、将来の使用が見込まれていない生産設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額するとともに、当該減少額を撤去費用と合せて、減損損失(111,888千円)として特別損失を計上しております。</p> <p>なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、売却予定資産については売却予定額に基づき評価し、売却が困難な資産については正味売却価額を零として評価しております。</p>	場 所	用 途	種 類	金額 (千円)	福岡県朝倉郡 (三輪工場)	生産設備	建物等	51,830	構築物	3,724	機械及び装置	40,792	工具器具備品	874	合 計			97,222
場 所	用 途	種 類	金額 (千円)																
福岡県朝倉郡 (三輪工場)	生産設備	建物等	51,830																
		構築物	3,724																
		機械及び装置	40,792																
		工具器具備品	874																
合 計			97,222																

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。